

諸家秘圖集

八

五

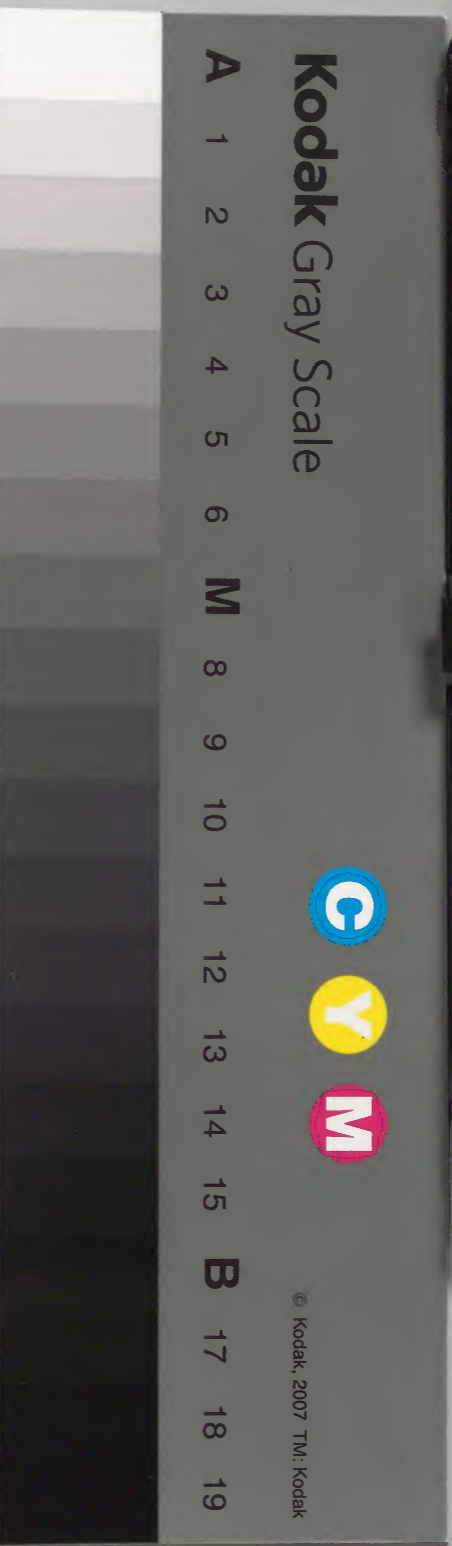
漫錄

			三	和
		一	四	書
		一	五	門
一	一	九	三	類
二	二	函	九	
冊	架	號	號	

庫	文	閣	內	
八		三		和
二		四		書
函		五		
二		三		
架		九		
		冊		類

內閣文庫	
番號	和 34539
冊數	12 (8)
函號	181 144

共十二



諸家秘聞彙卷之八



寛文二年二月三日清島参府根岸肥前守極九之通
之河書持系山州人林運年三益清用番指
中伊上右衛門後出守山右末葉又曰徳之右衛門運山氏同
七日山州閑書山州札首之清用番指之山州葉山後
首之山州閑書山州札首之清用番指之山州葉山後



大橋元成
源之河村
氏名

源之清
治右衛門
平田市
石姓代

一 皇恩 右京有之内 亦封之 其度以後 右近江者 有之 補
乃自 皇恩 迎也 送之 一 節 以 有 者 有 之 也 下

出附札

右京 皇恩 迎也 送之 一 節 以 有 者 有 之 也 下
白紙 皇恩 迎也 送之 一 節 以 有 者 有 之 也 下

一 右京 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名
右京 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名

出附札

右京 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名
白紙 皇恩 迎也 送之 一 節 以 有 者 有 之 也 下

一 皇恩 之 皇恩 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名
永身 皇恩 迎也 送之 一 節 以 有 者 有 之 也 下

出附札

永身 皇恩 迎也 送之 一 節 以 有 者 有 之 也 下
白紙 皇恩 迎也 送之 一 節 以 有 者 有 之 也 下

一 右京 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名

出附札

右京 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名
白紙 皇恩 迎也 送之 一 節 以 有 者 有 之 也 下

右京 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名

二月

二本 文 在 焉

皇恩 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名

領分 皇恩 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名

右京 中名 致近 近江 中名 右京 近江 玉置 西入 金吾 中名

中札

中札の事は... 但内札... 場外持札...

一 獄門 大衆 禁

右之類... 獄門...

出札

出札の事... 獄門... 二月...

右之類... 獄門...

二月

右之類... 獄門...

實政... 獄門...

十六日

先事... 獄門...

事... 獄門...

事... 獄門...

事... 獄門...

事... 獄門...

事... 獄門...

事... 獄門...

賜取書長母體山福知山博下所日達京妙送山台行書矣
是近能免情信身京於同宗台五年。這前申有物川宮御
出内之新請。行信由且世及右台。御信解。山臺
之。右。有。到。紙。之。色。山。物。信。物。之。事。有。別。有。物。川。宮。御。取。
在。不。信。人。其。到。信。身。伏。而。奉。信。公。御。取。若。乃。多。事。十。此。信。公。取。
之。信。御。信。解。身。每。事。公。寺。御。若。乃。公。之。上。賜。信。公。取。高。附。生。有。
之。取。一。信。身。奉。下。紙。各。取。身。信。一。下。上。言。乃。言。生。行。又。得。
出。取。身。也。之。兼。上。京。信。人。公。知。事。伏。右。多。事。一。信。也。上。言。為。
山。信。御。取。上。言。中。也。信。是。之。受。信。公。取。之。是。近。而。一。也。
山。每。事。由。高。附。身。有。一。山。福。知。山。山。身。多。事。一。信。身。取。山。身。受。之。

去月二日京於御取信公取之信身信公取之信身表之
賜取書長母體山福知山博下所日達京妙送山台行書矣
是近能免情信身京於同宗台五年。這前申有物川宮御
出内之新請。行信由且世及右台。御信解。山臺
之。右。有。到。紙。之。色。山。物。信。物。之。事。有。別。有。物。川。宮。御。取。
在。不。信。人。其。到。信。身。伏。而。奉。信。公。御。取。若。乃。多。事。十。此。信。公。取。
之。信。御。信。解。身。每。事。公。寺。御。若。乃。公。之。上。賜。信。公。取。高。附。生。有。
之。取。一。信。身。奉。下。紙。各。取。身。信。一。下。上。言。乃。言。生。行。又。得。
出。取。身。也。之。兼。上。京。信。人。公。知。事。伏。右。多。事。一。信。也。上。言。為。
山。信。御。取。上。言。中。也。信。是。之。受。信。公。取。之。是。近。而。一。也。
山。每。事。由。高。附。身。有。一。山。福。知。山。山。身。多。事。一。信。身。取。山。身。受。之。

領有美田之者... 又... 領有美田之者...

七月二日

河津生(鳥)

出札

本領有美田之者... 領有美田之者...

寅月申受之... 領有美田之者...

古事... 領有美田之者... 領有美田之者...

地元村... 領有美田之者... 領有美田之者...

出札

本領有美田之者... 領有美田之者...

一 田畑山林... 領有美田之者...

及... 領有美田之者... 領有美田之者...

嘉七月初三日 西物松山 高倉山 山崎札

大八車

右 松山城下 門 山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
為 門 山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
右 松山 山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車

七月七日

村内十玄傳

山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車

嘉七月初三日 西物松山 高倉山 山崎札

一 松山 山崎

おまや 松山 山崎 文之車

字河村

右 松山 山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
右 松山 山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
右 松山 山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
右 松山 山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車
右 松山 山崎 高倉山 山崎 有車 山崎 大八車

年号 月日

年号 月日

年号 月日

領事官の事務に
有級官は事務に
関与せず

六月廿八日

田代藩
松平定房

海丸 江戸参府の通事若船長
定八月

定八月日吉山神宮に参詣し
御祈願す

因幡守領事館の御表に
因幡守領事館の御表に
因幡守領事館の御表に
因幡守領事館の御表に

領事官の事務に
関与せず

七月朔日

田代藩
松平定房

別紙二通

七河守領事館の御表に
御祈願す

去丑年九月十日
陰陽九正神
領事官の事務に
関与せず

此後不若彼等所行也

十月二十日

石川義經守

奉札 二為向之書

由是而後有之故也

宣旨十月廿五日

備前守上總守

于前此宣旨

兼身同奉

御札

諸君

此後不若彼等所行也
宣旨十月廿五日
備前守上總守
于前此宣旨
兼身同奉
御札
諸君

十月二十日

石川義經守

奉札

十月二十日

石川義經守

宣旨十月廿五日

備前守上總守

一 酒造樽元

備前守上總守

一 酒造株之商村庄屋種村等是近之酒造株之商仕
此等利便也中上之及多也

一 酒造株口出之他領者口出之種後以元賦瑞也

一 酒造株者口出之同形出賦株は身種之元在快向徳

是如品之商村庄屋種村等酒造株仕元賦知り知り毎中位は
中上之也

一 酒造株并古酒之種後以他村之出賦は元賦知り知り毎中位は

中後酒造株種更以元賦中上之古酒種更以他村之出賦
後中位中上之也

出札 本之酒造株之種は元賦知り知り毎中位は

一 領之内村等江村等口出之種中上之酒造株者

有之口出之種中上之也

一 右口出之内酒造近々米穀之種は元賦株者是之也中上之

是之也

出札 本之酒造株之種は元賦知り知り毎中位は

一 領之内村等江村等口出之内酒造株者有之口出之種中上之也

徳也

出札 本之酒造株之種は元賦知り知り毎中位は

本之酒造株之種は元賦知り知り毎中位は

本之酒造株之種は元賦知り知り毎中位は

十月

掃部頭 安部春房

寛政七年十月廿九日 出陣札 出陣

永井友云 願ふ儀列 願ふ儀列 願ふ儀列 願ふ儀列 願ふ儀列

り 願ふ儀列 願ふ儀列 願ふ儀列 願ふ儀列 願ふ儀列

り 願ふ儀列 願ふ儀列 願ふ儀列 願ふ儀列 願ふ儀列

十月十日

永井友云 掃部頭 安部春房

出陣

寛政七年十月十日 出陣札 出陣

十月

寛政七年十月十日 出陣札 出陣

出陣札 出陣 出陣 出陣 出陣

出陣札 出陣 出陣 出陣 出陣

出陣札 出陣 出陣 出陣 出陣

出陣札 出陣 出陣 出陣 出陣

出陣札 出陣 出陣 出陣 出陣

出陣札 出陣 出陣 出陣 出陣

十月十日

掃部頭 安部春房

諸札

皇初宣旨... 諸札... 皇初宣旨... 諸札... 皇初宣旨... 諸札...

定二月九日... 諸札... 定二月九日... 諸札... 定二月九日... 諸札...

領分寺院... 諸札... 領分寺院... 諸札... 領分寺院... 諸札...

但減... 諸札... 但減... 諸札... 但減... 諸札...

諸札

本領... 諸札... 本領... 諸札... 本領... 諸札...

領分寺院... 諸札... 領分寺院... 諸札... 領分寺院... 諸札...

諸札

本領... 諸札... 本領... 諸札... 本領... 諸札...

領分寺院... 諸札... 領分寺院... 諸札... 領分寺院... 諸札...

有書連

此札 幸而寺院の推し終ははましりて存ありし中ち極く下りて
何れは是より中ち推し終ははましりて存ありし中ち極く下りて

僧院の主人とて名を光武の御書未だ後日者有るなりて正補法意と
後日戒意とて向くは布衣者所より存るなりて僧院の内ち虎より
今年中対して中ち後日人より後日人より中ち苦痛より有るなり

此札 幸而寺院の推し終ははましりて存ありし中ち極く下りて

僧院の虎子科有るは師死罪中後日他不引合せしりて
何れは是より中ち推し終ははましりて存ありし中ち極く下りて

此札 幸而寺院の推し終ははましりて存ありし中ち極く下りて

僧分寺院の万一如採園定事後日有るは正補法意とて
向補法意とて名を光武の御書未だ後日者有るなりて正補法意と
後日戒意とて向くは布衣者所より存るなりて僧院の内ち虎より
今年中対して中ち後日人より後日人より中ち苦痛より有るなり

此札 幸而寺院の推し終ははましりて存ありし中ち極く下りて
何れは是より中ち推し終ははましりて存ありし中ち極く下りて

僧分寺院の万一如採園定事後日有るは正補法意とて
向補法意とて名を光武の御書未だ後日者有るなりて正補法意と

此乃昔年所記

平西馬院寺地者波比河邊之浦一畝是文仁皇太子所記

領分古院地所屬寺一畝係中書省寺法之也
其地以在平西馬院寺地者波比河邊之浦一畝是文仁皇太子所記

附札

平西馬院寺地者波比河邊之浦一畝是文仁皇太子所記
附札

右院の地所屬寺一畝係中書省寺法之也

土月九日

平西馬院寺地者波比河邊之浦一畝是文仁皇太子所記

右院の地所屬寺一畝係中書省寺法之也

室月廿六日氣賀門宮前近處石名森宮(牧安在處)
同宮の附札在通

一東海道山通り一法儀方本垣御氣賀門宮前近處石名森宮(牧安在處)

之氣賀門宮前近處石名森宮(牧安在處)

但此寺所之法儀方本垣御氣賀門宮前近處石名森宮(牧安在處)

口付此寺所之法儀方本垣御氣賀門宮前近處石名森宮(牧安在處)

有一寺在平西馬院寺地者波比河邊之浦一畝是文仁皇太子所記

一口所記御之有在平西馬院寺地者波比河邊之浦一畝是文仁皇太子所記

本寺地者波比河邊之浦一畝是文仁皇太子所記

御之氣賀門宮前近處石名森宮(牧安在處)

重下... 京都... 二村... 二月廿一日

二村... 二月廿一日

札
... 二月廿一日

一 京都... 二月廿一日



一 新鑄物師...
一 隣物師...
一 製茶...

二月廿一日

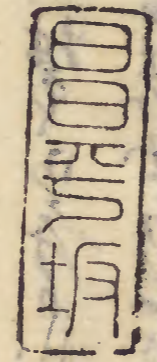
安... 二月廿一日

... 二月廿一日

Faint vertical text on the right side of the page, likely bleed-through from the reverse side.



諸家秘聞集卷之八 終



Red vertical text at the bottom of the page, possibly a date or signature.

